

# 等積中心アファイン曲線と円周の微分同相群

藤岡敦

関西大学システム理工学部数学科

2021年6月22日(火)

遠隔開催 (Zoom ウェビナー), RIMS 共同研究 (公開型)

部分多様体と関連する幾何構造研究の深化と融合

(黒瀬俊氏 (関西学院大学), 森吉仁志氏 (名古屋大学) との共同研究)

# 内容

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

- 1 序
- 2 等積中心アファイン曲線
- 3 等積中心アファイン閉曲線
- 4 平面曲線の場合
- 5 一般次元の場合
- 6 平面への射影
- 7 空間への射影

# 背景と主結果

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

- 等積中心アファイン平面閉曲線のなす空間
  - 円周の微分同相群が作用する
  - 更に Virasoro-Bott 群が作用する
  - 上の空間は Virasoro 代数の双対の余随伴軌道とみなせる
  - シンプレクティック幾何的な性質を調べることができる
- 一般次元の場合
  - 等積中心アファイン閉曲線のなす空間を考える
  - 円周の微分同相群が作用する
  - 平面曲線, 空間曲線のなす空間への射影が定まる
  - 上の作用に関して同変となる

# 等積中心アファイン曲線の定義

## 定義

$I$ : 区間

$n = 2, 3, 4, \dots$

$\gamma : I \rightarrow \mathbb{R}^n \setminus \{0\}$ : 等積中心アファイン曲線

$\Updownarrow$  def.

$$\det \begin{pmatrix} \gamma \\ \gamma' \\ \vdots \\ \gamma^{(n-1)} \end{pmatrix} \equiv 1$$

$s \in I$  を等積中心アファイン弧長径数という

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 等積中心アファイン曲線の基本定理

$\gamma : I \rightarrow \mathbb{R}^n \setminus \{0\}$ : 等積中心アファイン曲線

$\implies \exists \kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{n-1} : I \rightarrow \mathbb{R}$  s.t.

$$\gamma^{(n)} + \kappa_1 \gamma^{(n-2)} + \kappa_2 \gamma^{(n-3)} + \dots + \kappa_{n-1} \gamma = 0$$

$i = 1, 2, \dots, n-1$  に対して  $\kappa_i$  を第  $i$  曲率という

## 等積中心アファイン曲線の基本定理

$\kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{n-1} : I \rightarrow \mathbb{R}$

$\implies \exists \gamma : I \rightarrow \mathbb{R}^n \setminus \{0\}$ : 第  $i$  曲率が  $\kappa_i$  の等積中心アファイン曲線

原点を固定する等積アファイン変換の合成を除いて一意

原点を固定する等積アファイン変換:

- $SL(n, \mathbb{R})$  の元を掛けること
- 等積中心アファイン変換という

等積中心アファイン曲線と円周の微分同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン曲線

等積中心アファイン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

# 例

## 定曲率等積中心アファイン平面曲線

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

等積中心アファイン平面曲線を考える

第1曲率を等積中心アファイン曲率という

### 例1 (定曲率等積中心アファイン平面曲線)

$\gamma: I \rightarrow \mathbb{R}^2 \setminus \{0\}$ : 等積中心アファイン平面曲線

$\kappa$ : 等積中心アファイン曲率

○  $\kappa \equiv 0$  のとき  $\gamma$  は直線の一部

$$\gamma(s) = (a + bs, c + ds) \quad (a, b, c, d \in \mathbb{R}, ad - bc = 1)$$

○  $\kappa$  が正の定数のとき  $\gamma$  は楕円の一部

$$\gamma(s) = \left( a \cos \frac{s}{ab}, b \sin \frac{s}{ab} \right) \quad (a, b > 0) \quad \left( \kappa = \frac{1}{a^2 b^2} \right)$$

○  $\kappa$  が負の定数のとき  $\gamma$  は双曲線の一部

# 記号の準備

- 周期  $2\pi$  の等積中心アファイン曲線を考える:

$$\gamma: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}^n \setminus \{0\}$$

ただし

$$\det \begin{pmatrix} \gamma \\ \gamma' \\ \vdots \\ \gamma^{(n-1)} \end{pmatrix} \equiv 1, \quad \forall s \in \mathbb{R}, \quad \gamma(s + 2\pi) = \gamma(s)$$

等積中心アファイン閉曲線という

- $S^1 := \mathbb{R}/2\pi\mathbb{Z}$  (円周)  
上の  $\gamma$  を  $S^1$  からの写像とみなす
- $\mathcal{M}_n: \mathbb{R}^n \setminus \{0\}$  内の等積中心アファイン閉曲線全体
- $\mathcal{M}_n/\mathrm{SL}(n, \mathbb{R}): \mathbb{R}^n \setminus \{0\}$  内の等積中心アファイン閉曲線の合同類全体

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 例

$n$  が偶数のときの定曲率等積中心アファイン閉曲線

## 例 2 ( $n$ が偶数のときの定曲率等積中心アファイン閉曲線)

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m}$  ( $m \in \mathbb{N}$ ) s.t.  $\kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{2m-1}$ : 定数

$\gamma$  は

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \mu \sin \lambda_m s) \quad (s \in S^1)$$

と表される

ただし  $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$  は互いに異なる自然数

$$t^{2m} + \kappa_1 t^{2m-2} + \dots + \kappa_{2m-1} = (t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

$$(\kappa_2 = \kappa_4 = \dots = \kappa_{2m-2} = 0)$$

また

$$\frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影



# 例

$n$  が奇数のときの定曲率等積中心アファイン閉曲線

## 例 3 ( $n$ が奇数のときの定曲率等積中心アファイン閉曲線)

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m+1}$  ( $m \in \mathbb{N}$ ) s.t.  $\kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{2m}$ : 定数

$\gamma$  は

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \sin \lambda_m s, \mu) \quad (s \in S^1)$$

と表される

ただし  $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$  は互いに異なる自然数

$$t^{2m+1} + \kappa_1 t^{2m-1} + \dots + \kappa_{2m} = t(t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

$$(\kappa_2 = \kappa_4 = \dots = \kappa_{2m} = 0)$$

また

$$\frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i^3 \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 円周の微分同相群の作用

$\text{Diff}(S^1)$ : 向きを保つ  $S^1$  の微分同相写像全体からなる群  
 $\gamma \in \mathcal{M}_n, g \in \text{Diff}(S^1)$

$$\tilde{\gamma}(s) := (\gamma \cdot g)(s) := (g'(s))^{\frac{1-n}{2}} (\gamma \circ g)(s) \quad (s \in S^1)$$

## 命題

上の式は  $\text{Diff}(S^1)$  の  $\mathcal{M}_n, \mathcal{M}_n/\text{SL}(n, \mathbb{R})$  への作用を定める

## 証明

$k = 0, 1, 2, \dots, n-1$  とすると

$$\tilde{\gamma}^{(k)} = (g')^{\frac{1-n}{2}+k} (\gamma^{(k)} \circ g) + \dots$$

また

$$\sum_{k=0}^{n-1} \left( \frac{1-n}{2} + k \right) = 0$$

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の場合

一般次元の場合

平面への射影

空間への射影

# 軌道分解

平面曲線の場合を考える

$l \in \mathbb{N}$

$\mathcal{M}_{2,l}$ : 回転数  $l$  の等積中心アファイン平面閉曲線全体

$$\mathcal{M}_{2,l} = \left\{ \gamma \in \mathcal{M}_2 \mid \frac{1}{2\pi} \int_{S^1} \arg \gamma(s) ds = l \right\}$$

$\mathcal{M}_{2,l}/\mathrm{SL}(2, \mathbb{R})$ : 回転数  $l$  の等積中心アファイン平面閉曲線の合同類全体

このとき

$$\mathcal{M}_2 = \bigsqcup_{l \in \mathbb{N}} \mathcal{M}_{2,l}, \quad \mathcal{M}_2/\mathrm{SL}(2, \mathbb{R}) = \bigsqcup_{l \in \mathbb{N}} (\mathcal{M}_{2,l}/\mathrm{SL}(2, \mathbb{R}))$$

第2式は  $\mathrm{Diff}(S^1)$  の  $\mathcal{M}_2/\mathrm{SL}(2, \mathbb{R})$  への作用による軌道分解  
特に  $\mathrm{Diff}(S^1)$  の  $\mathcal{M}_{2,l}/\mathrm{SL}(2, \mathbb{R})$  への作用は推移的

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容  
序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 等積中心アファイン曲率の変換則

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影  
空間への射影

$\gamma \in \mathcal{M}_2, g \in \text{Diff}(S^1)$   
このとき

$$\tilde{\gamma} = \gamma \cdot g = (g')^{-\frac{1}{2}}(\gamma \circ g)$$

## 命題

$\kappa$ :  $\gamma$  の等積中心アファイン曲率

$\implies \tilde{\gamma}$  の等積中心アファイン曲率は

$$(g')^2(\kappa \circ g) + \frac{1}{2}S(g)$$

ただし  $S(g)$  は  $g$  の Schwarz 微分:

$$S(g) = \left(\frac{g''}{g'}\right)' - \frac{1}{2}\left(\frac{g''}{g'}\right)^2$$

# 記号の準備

- $\text{Diff}(S^1)$  の  $\mathcal{M}_n$  への作用を考える

$$\mathcal{M}_n \ni \gamma \mapsto \tilde{\gamma} = \gamma \cdot g \in \mathcal{M}_n \quad (g \in \text{Diff}(S^1))$$

- 曲率の変換則を求めたい

- $\alpha := \frac{1-n}{2}$

- 単に

$$\tilde{\gamma} = (g')^\alpha \gamma$$

などと書く

- $h := \frac{g''}{g'}$

- $h, h', h'', \dots$  を独立変数とみなす
- $h^{(k)}$  の次数を  $(k+1)$  とする
- $h, h', h'', \dots$  の多項式  $P$  の重み付き次数が定められる
- $\deg_w P$  と表す

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 曲線の微分の変換則

## 補題

○  $k = 1, 2, \dots, n$  とすると

$$\tilde{\gamma}^{(k)} = \sum_{l=0}^{k-1} P_{k,l} \tilde{\gamma}^{(l)} + (g')^{\alpha+k} \gamma^{(k)}$$

ただし  $P_{k,l}$  は

$$\deg_w P_{k,l} = k - l$$

の  $h, h', h'', \dots$  の同次多項式

○ 次の3つの漸化式がなりたつ

漸化式 1:  $k = 1, 2, \dots, n-1$  のとき

$$P_{k+1,0} = \sum_{m=0}^{k-1} \frac{\partial P_{k,0}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} - (\alpha + k) P_{k,0} h$$

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 曲線の微分の変換則

## 補題の続きと証明

### 補題 (続き)

漸化式 2:  $k = 2, 3, \dots, n-1, l = 1, 2, \dots, k-1$  のとき

$$P_{k+1,l} = \sum_{m=0}^{k-l-1} \frac{\partial P_{k,l}}{\partial h^{(m)}} h^{(m+1)} + P_{k,l-1} - (\alpha + k)P_{k,l}h$$

漸化式 3:  $k = 1, 2, \dots, n-1$  のとき

$$P_{k+1,k} = P_{k,k-1} + (\alpha + k)h$$

### 証明

まず

$$\tilde{\gamma} = (g')^\alpha \gamma$$

の両辺を微分すると

$$\tilde{\gamma}' = \alpha h \tilde{\gamma} + (g')^{\alpha+1} \gamma'$$

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容  
序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 曲率の微分の変換則

証明の続き

## 証明 (続き)

よって

$$P_{1,0} = \alpha h$$

したがって  $\tilde{\gamma}'$  は補題の式のように表される  
また  $P_{1,0}$  は  $\deg_w P_{1,0} = 1$  の同次多項式

次に  $k = 1, 2, \dots, n-1$  のとき

- $\tilde{\gamma}^{(k)}$  は補題の式のように表される
- $P_{k,l}$  は  $\deg_w P_{k,l} = k-l$  の同次多項式である

と仮定する

- $P_{k,l}$  が  $h, h', \dots, h^{(k-l-1)}$  の多項式であることに注意し  $\tilde{\gamma}^{(k+1)}$  を計算する
- 3つの漸化式が得られる
- 更に  $\deg_w P_{k,l}$  を計算することができる

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影



# 曲率の変換則

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

## 定理 1

$$\gamma \in \mathcal{M}_n$$

$\kappa_i$ :  $\gamma$  の第  $i$  曲率 ( $i = 1, 2, \dots, n-1$ )

$$g \in \text{Diff}(S^1)$$

$$\tilde{\gamma} = \gamma \cdot g$$

$\tilde{\kappa}_i$ :  $\tilde{\gamma}$  の第  $i$  曲率

$\implies l = 0, 1, 2, \dots, n-3$  のとき

$$\tilde{\kappa}_{n-l-1} = (g')^{n-l} \kappa_{n-l-1} - P_{n,l} - \sum_{k=l+1}^{n-2} (g')^{n-k} \kappa_{n-k-1} P_{k,l}$$

また

$$\tilde{\kappa}_1 = (g')^2 \kappa_1 + \frac{n(n^2-1)}{12} S(g)$$

# 曲率の変換則

証明

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

証明

曲線の微分の変換則を用いて計算すると

$$\begin{aligned}\tilde{\gamma}^{(n)} &= \sum_{l=0}^{n-2} P_{n,l} \tilde{\gamma}^{(l)} - (g')^n \kappa_{n-1} \tilde{\gamma} \\ &\quad - \sum_{k=1}^{n-2} (g')^{n-k} \kappa_{n-k-1} \left( \tilde{\gamma}^{(k)} - \sum_{l=0}^{k-1} P_{k,l} \tilde{\gamma}^{(l)} \right)\end{aligned}$$

よって定理の第1式および

$$\tilde{\kappa}_1 = (g')^2 \kappa_1 - P_{n,n-2}$$

が得られる

さらに漸化式を用いて  $P_{n,n-2}$  を計算する

# $\mathcal{M}_2$ の軌道への同変射影

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

$$n = 3, 4, 5, \dots$$

$$\gamma \in \mathcal{M}_n$$

$\kappa_1$ :  $\gamma$  の第 1 曲率

$\bar{\gamma}: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}^2 \setminus \{0\}$ : 等積中心アファイン平面曲線 s.t.

$$\text{等積中心アファイン曲率} = \frac{6}{n(n^2 - 1)} \kappa_1$$

更に  $\text{Diff}(S^1)$  の作用を考える

## 定理 2

$\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_2$  ならば  $\gamma$  から  $\bar{\gamma}$  への対応は  $\gamma$  の軌道から  $\bar{\gamma}$  の軌道への同変写像を定める:

$$\overline{\gamma \cdot g} = \bar{\gamma} \cdot g \quad (g \in \text{Diff}(S^1))$$

# $M_2$ の軌道への同変射影

証明

## 証明

定理 1 より第 1 曲率の変換則は

$$\tilde{\kappa}_1 = (g')^2 \kappa_1 + \frac{n(n^2 - 1)}{12} S(g)$$

$\bar{\kappa}_1, \tilde{\bar{\kappa}}_1$  を  $\bar{\gamma}, \overline{\gamma \cdot g}$  の等積中心アファイン曲率とする  
このとき

$$\frac{n(n^2 - 1)}{6} \tilde{\bar{\kappa}}_1 = (g')^2 \cdot \frac{n(n^2 - 1)}{6} \bar{\kappa}_1 + \frac{n(n^2 - 1)}{12} S(g)$$

$\Updownarrow$

$$\tilde{\bar{\kappa}}_1 = (g')^2 \bar{\kappa}_1 + \frac{1}{2} S(g)$$

これは  $n = 2$  のときの等積中心アファイン曲率の変換則

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 例

$\mathcal{M}_{2m}$  の軌道から  $\mathcal{M}_{2,l}$  への同変射影

## 例 4 ( $\mathcal{M}_{2m}$ の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変射影)

$m = 2, 3, 4, \dots$

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m}$ : 例 2 の定曲率等積中心アファイン閉曲線

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \mu \sin \lambda_m s) \quad (s \in S^1)$$

○  $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$ : 互いに異なる自然数

$$\circ \frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

$$\circ t^{2m} + \kappa_1 t^{2m-2} + \dots + \kappa_{2m-1} = (t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

特に

$$\kappa_1 = \lambda_1^2 + \lambda_2^2 + \dots + \lambda_m^2$$

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 例

$\mathcal{M}_{2m}$  の軌道から  $\mathcal{M}_{2,l}$  への同変射影 (続き)

## 例 4 (続き)

ここで

$$\lambda_1 := l, \quad \lambda_2 := 3l, \quad \dots, \quad \lambda_m := (2m-1)l \quad (l \in \mathbb{N})$$

このとき

$$\frac{6}{2m\{(2m)^2 - 1\}} \kappa_1 = l^2$$

よって

$$\bar{\gamma}(s) = \left( \cos ls, \frac{1}{l} \sin ls \right) \quad (s \in S^1)$$

特に  $\bar{\gamma}$  は回転数  $l$  の等積中心アファイン平面閉曲線

すなわち  $\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_{2,l}$

$\gamma$  から  $\bar{\gamma}$  への対応は  $\gamma$  の軌道から  $\mathcal{M}_{2,l}$  への同変写像を定める

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 例

$\mathcal{M}_{2m+1}$  の軌道から  $\mathcal{M}_{2,l}$  への同変射影

## 例 5 ( $\mathcal{M}_{2m+1}$ の軌道から $\mathcal{M}_{2,l}$ への同変射影)

$m \in \mathbb{N}$

$\gamma \in \mathcal{M}_{2m+1}$ : 例 3 の定曲率等積中心アファイン閉曲線

$$\gamma(s) = (\cos \lambda_1 s, \sin \lambda_1 s, \dots, \cos \lambda_m s, \sin \lambda_m s, \mu) \quad (s \in S^1)$$

○  $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_m$ : 互いに異なる自然数

$$\circ \frac{1}{\mu} = \prod_{i=1}^m \lambda_i^3 \prod_{i < j} (\lambda_i^2 - \lambda_j^2)^2$$

$$\circ t^{2m+1} + \kappa_1 t^{2m-1} + \dots + \kappa_{2m} = t(t^2 + \lambda_1^2) \cdots (t^2 + \lambda_m^2)$$

特に

$$\kappa_1 = \lambda_1^2 + \lambda_2^2 + \dots + \lambda_m^2$$

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# 例

$\mathcal{M}_{2m+1}$  の軌道から  $\mathcal{M}_{2,l}$  への同変射影 (続き)

## 例 5 (続き)

ここで

$$\lambda_1 := 2l, \quad \lambda_2 := 4l, \quad \dots, \quad \lambda_m := 2ml \quad (l \in \mathbb{N})$$

このとき

$$\frac{6}{(2m+1)\{(2m+1)^2-1\}} \kappa_1 = l^2$$

よって

$$\bar{\gamma}(s) = \left( \cos ls, \frac{1}{l} \sin ls \right) \quad (s \in S^1)$$

特に  $\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_{2,l}$

$\gamma$  から  $\bar{\gamma}$  への対応は  $\gamma$  の軌道から  $\mathcal{M}_{2,l}$  への同変写像を定める

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影



# $\mathcal{M}_3$ の軌道への同変射影

$n = 4, 5, 6, \dots$

$\gamma \in \mathcal{M}_n$

$\kappa_1, \kappa_2$ :  $\gamma$  の第 1 曲率, 第 2 曲率

$\bar{\gamma}: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}^3 \setminus \{0\}$ : 等積中心アファイン空間曲線 s.t.

$$\text{第 1 曲率} = \frac{24}{n(n^2 - 1)} \kappa_1$$

$$\text{第 2 曲率} = \frac{24}{n(n^2 - 1)(n - 2)} \kappa_2$$

更に  $\text{Diff}(S^1)$  の作用を考える

## 定理 3

$\bar{\gamma} \in \mathcal{M}_3$  ならば  $\gamma$  から  $\bar{\gamma}$  への対応は  $\gamma$  の軌道から  $\bar{\gamma}$  の軌道への同変写像を定める

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# $\mathcal{M}_3$ の軌道への同変射影

証明

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影  
空間への射影

## 証明

定理 1 より第 1 曲率の変換則は

$$\tilde{\kappa}_1 = (g')^2 \kappa_1 + \frac{n(n^2 - 1)}{12} S(g)$$

第 2 曲率の変換則は

$$\tilde{\kappa}_2 = (g')^3 \kappa_2 - P_{n,n-3} - (g')^2 \kappa_1 P_{n-2,n-3}$$

更に計算すると

$$P_{n-2,n-3} = -(n-2)h, \quad P_{n,n-3} = -\frac{n(n^2-1)(n-2)}{24} (S(g))'$$

以下は定理 2 の証明と同様

例 4, 例 5 と同様の例を考えることができる

等積中心ア  
ファイン曲線  
と円周の微分  
同相群

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ  
イン曲線

等積中心アファ  
イン閉曲線

平面曲線の  
場合

一般次元の  
場合

平面への射影

空間への射影

# ご清聴ありがとうございました